

ウォッチ 操作ガイド 5748

CASIO®

目次

安全上のご注意

本機について

- 各部の名称
- 文字板の表示
- モードを切り替える
- 各モードの概略
- リゅうずを使う
- 針と日付の動き方について
- 充電する
- 暗い所で時計を見る
- 本機の便利な使い方

スマートフォンと一緒に使う

- 準備する
- 時計の時刻を自動で合わせる
- アラームを設定する
- タイマーを設定する
- 針や日付の位置を補正する
- スマートフォンを探す
- 時計の各種機能を設定する
- ホーム都市のサマータイム設定を切り替える
- 時計の充電量を確認する
- 訪れた場所を記録する(タイム&プレイス)
- 接続
 - 時計とスマートフォンを接続する
 - 時計とスマートフォンの接続を解除する
 - 病院内、飛行機内で使うとき
 - ペアリングを解除する
 - スマートフォンを買い替えたとき

時刻を合わせる

- 時計を操作して時刻を合わせる

アラーム

- CASIO WATCHES でアラームを設定する
- アラームを設定する
- アラームを解除する

ストップウォッチ

- 計測する

タイマー

- CASIO WATCHES でタイマーを設定する
- 時間を設定する
- タイマーを使う

針や日付の補正

- CASIO WATCHES で針や日付の位置を補正する
- 針や日付の位置を補正する

その他の設定

- 時計の設定をリセットする

仕様一覧

補足

- サマータイムの切り替えについて
- 対応するスマートフォン
- 商標、登録商標について

困ったときは

注意事項

- ご使用上の注意
- お手入れについて
- 本製品で使用している電池について
- 金属バンドの駒詰めについて
- モバイルリンク機能に関する注意事項
- 無線に関するご注意

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

	死亡または重傷を負う可能性が大きい内容を示しています。
	死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
	軽傷を負う可能性および物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。

絵表示の例



分解禁止

記号は「してはいけないこと」を意味しています (左の例は分解禁止)。



記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。



記号は「しなければならないこと」を意味しています。

危険

●二次電池について



本機から二次電池を取り出さない。
発熱、破裂、発火の恐れがあります。
やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤って飲み込むことがないように注意してください。特に小さなお子様ご注意ください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。電池を飲み込むと、短時間で化学やけどや粘膜組織の貫通などを引き起こし、死亡事故の原因になります。



二次電池の交換は、必ず、「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照) またはお買い上げの販売店に依頼する。

指定外の電池を使用したり、電池の交換を誤ったりすると、発熱、破裂、発火の恐れがあります。

警告

●スクーバダイビングに使用しない



本機をスクーバダイビングに使用しない。

本機はダイバーズウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。

●分解・改造しない



分解禁止

本機を分解・改造しない。
けがの原因となります。

●他の電子機器への影響について



病院内や航空機内では、病院や航空会社の指示に従う。使用禁止の場所で、使用しない。

本機からの電磁波などが計器類に影響を与え、事故の原因となります。



高精度な電子機器または微弱な信号を取り扱う電子機器の近くで使用しない。

電子機器が誤作動するなどの影響を与え、事故の原因となります。



心臓ペースメーカーなどをご使用の方は、本機を胸部から離して使う。

心臓ペースメーカーなどに磁力の影響を与えることがあります。異常を感じたら直ちに本機を体から離し、医師に相談してください。



満員電車の中など混雑した場所では、無線機能をオフにするか機内モードにする。

付近に心臓ペースメーカーなどを装着している方がいると、電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となります。

注意

●お手入れについて



ケース・バンドは常に清潔にして使う。

ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。特に、海水に浸した後、放置するとさびやすくなります。

●かぶれについて



時計の本体およびバンドは、直接肌に接触しています。使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

1. 金属・皮革に対するアレルギー
2. 時計の本体およびバンドの汚れ・さび・汗など
3. 体調不良など

バンドは余裕を持たせて使用する。

きつくしめると、汗をかきやすく、空気の通りが悪くなり、かぶれを起こす恐れがあります。

「抗菌防臭バンド」は細菌の繁殖とにおいの発生を抑えます。皮膚のかぶれを防ぐものではありません。

かぶれなど、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。



ときどき時計を外して手首を休ませる。

お客様のご使用いただく環境(長時間の装着や汗をかいた場合など)によっては、皮膚(肌)に負担がかかる場合があります。皮膚障害を防ぐため定期的に製品の装着をやめ、皮膚(肌)を休ませてください。

●ご使用にあたって



時計の表示は、安全な場所で確認する。

思わぬ転倒や、けが、事故の原因となることがあります。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車などの運転中はご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にもご注意ください。



時計の着脱に注意する。

バンドの中留で爪を傷つける恐れがあります。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。



小さなお子様と接するときは、時計を外す。

お子様のけがやアレルギーによるかぶれの原因となることがあります。



時計本体(裏ぶたを含む)やバンドに製品保護シールが付いている場合は、ご使用になる前に必ずはがす。

シールをはがさずにご使用になると、「時計本体やバンド」と「シール」との隙間に汚れが付着し、さびやかぶれの原因となることがあります。

本機について

時計の概要と、便利な使い方を紹介します。

本製品の特長

● スマートフォンと通信

Bluetooth 対応のスマートフォンと接続し、通信することができます。

● ソーラー充電

太陽や照明の光によって発電し、電気エネルギーを充電しながら動きます。

● アラーム

設定した時刻になると、電子音を鳴らしてお知らせします。

● ストップウォッチ

1 秒単位で 30 分まで計測できます。

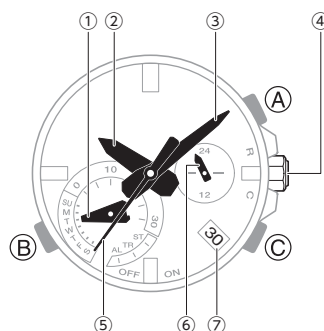
● タイマー

設定時間をカウントダウン計測し、残り時間が 0 になるとタイムアップ音を鳴らしてお知らせします。

参考

- この操作ガイドに記載しているイラストは、視認性を考慮して実際のものとは異なる描写をしているものがあります。ご了承ください。

各部の名称



- ① 機能針
- ② 時針
- ③ 分針
- ④ リゅううず
- ⑤ 秒針
- ⑥ 24 時間針
- ⑦ 日付

A ボタン

時刻モードとアラームモードのときに押すと、ライトが点灯します。

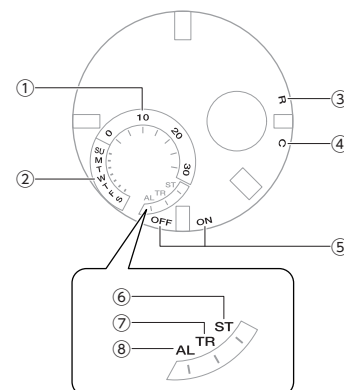
B ボタン

押すごとに、モードが切り替わります。どのモードからでも、1 秒以上押し続けると、時刻モードに戻ります。

C ボタン

スマートフォンとペアリングしているときに押すと、時計の時刻がスマートフォンの時刻に合います。

文字板の表示

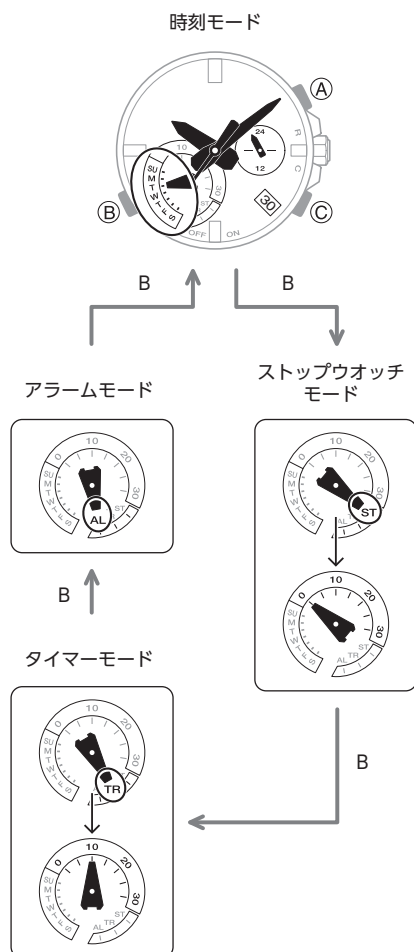


- ① 計測値
ストップウォッチモードまたはタイマーモードのとき、機能針が計測値を示します。
- ② 曜日
時刻モードのとき、機能針が現在の曜日表示します。
- ③ [R]
スマートフォンと接続待機中のとき、秒針が[R]を示します。
- ④ [C]
スマートフォンと接続中のとき、秒針が[C]を示します。
- ⑤ アラームの設定
アラームモードのとき、秒針がアラームの設定状況を示します。
[ON]: アラームオン
[OFF]: アラームオフ
- ⑥ [ST]
ストップウォッチモードに切り替えたとき、機能針が[ST]を示します。
- ⑦ [TR]
タイマーモードに切り替えたとき、機能針が[TR]を示します。
- ⑧ [AL]
アラームモードのとき、機能針が[AL]を示します。

モードを切り替える

B ボタンを押すごとに、時計のモードが切り替わります。

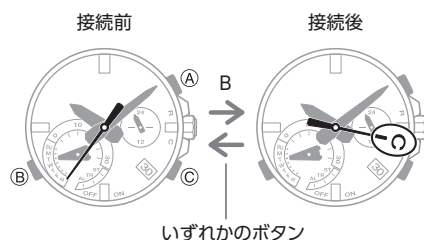
- B ボタンを 1 秒以上押し続けると、時刻モードになります。
- ストップウォッチモードまたはタイマーモードに切り替えると、機能針がモード名を示し、その後計測値を示します。



●ペアリングしているスマートフォンと接続する

B ボタンを 2.5 秒以上押し続けると、スマートフォンと接続します。

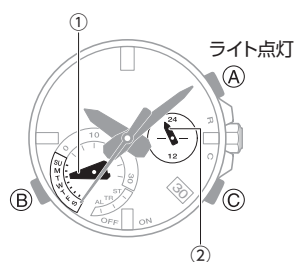
- いずれかのボタンを押すと、スマートフォンとの接続が解除されます。



各モードの概略

●時刻モード

時針、分針、秒針が現在時刻を示します。



- ① 現在の曜日
- ② 現在の時 (24 時間制)
24 時間で 1 周します。

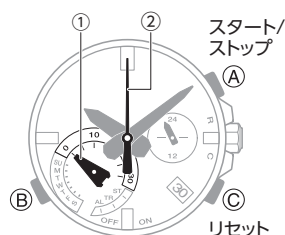
ペアリングしているスマートフォンと接続して時刻を合わせる

C ボタンを押します。

●ストップウォッチモード

時針、分針が現在時刻を示します。

機能針、秒針がストップウォッチの計測値を示します。

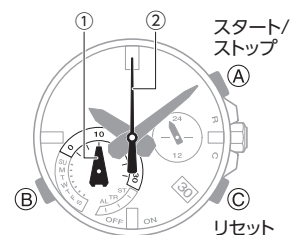


- ① ストップウォッチ分
- ② ストップウォッチ秒

●タイマーモード

時針、分針が現在時刻を示します。

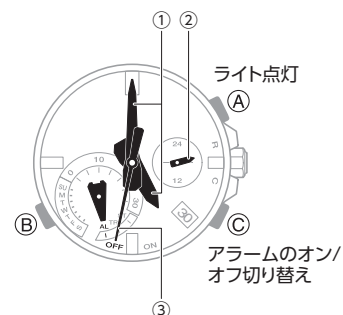
機能針、秒針がタイマーの計測値を示します。



- ① タイマー分
- ② タイマー秒

●アラームモード

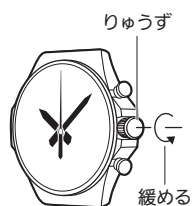
時針、分針がアラーム時刻を示します。



- ① アラーム時刻
- ② アラーム時 (24 時間制)
24 時間で 1 周します。
- ③ アラームのオン/オフ

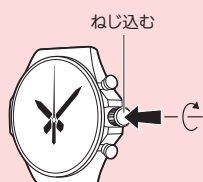
リゅうずを使う

リゅうずは、ねじ込み式になっています（ねじロック式リゅうず）。お使いになるときは、リゅうずを左回しにして、ねじ込みを緩めてください。



重要

- 防水性能の低下や衝撃を受けたときの損傷を防ぐため、操作が終わったら、リゅうずを押しながら右に回して必ずねじ込みをしてください。



- リゅうずを戻すときは、強く押し過ぎないようにご注意ください。

●早送り/早戻しする

リゅうずを引いた状態で素早く繰り返し回すと早送りまたは早戻しができます。早送り中に再度リゅうずを素早く繰り返し回すと、針の動きが速くなります。

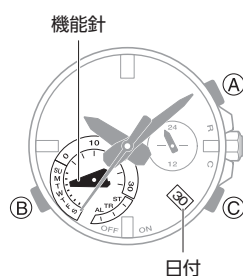
●早送り/早戻しを解除する

リゅうずを逆方向に回す、またはボタンを押します。

参考

- リゅうずを引いた状態で2分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、リゅうずをいったん戻し、再度引いてください。

針と日付の動き方について



●機能針と日付の動きについて

この時計は、日付を変更すると、日付の動きに連動して機能針が回転します。

●日付について

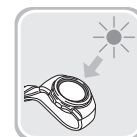
- 午前 12 時 (深夜 12 時) になると約 1 分から約 4 分かけて日付が変わります。このとき、日付の動きに合わせて機能針が回転します。
- ストップウォッチモードやタイマーモードで計測中または一時停止中は、日付が変わりません。

充電する

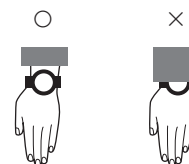
この時計は、ソーラーパネルで発電した電気をバッテリー（二次電池）に充電しながら動作します。ソーラーパネルは文字板と一体になっており、文字板に光が当たっているときは常に発電し充電しています。

●充電する

時計を腕から外しているときは、光が当たる明るい場所に置いて充電してください。



腕につけているときは、文字板（ソーラーパネル）に衣類の袖がかからないように心がけてください。文字板（ソーラーパネル）が一部でも隠れていると発電効率が低下します。



重要

- 充電の際、光源の条件や環境によっては時計本体が非常に高温になり、火傷を負ったり、時計内部の部品が破損する原因となります。以下のような 60°C 以上になる可能性がある場所での充電は避けてください。
 - 炎天下に駐車している車のダッシュボードの上
 - 白熱灯、撮影用ライト、ハロゲンランプなどの発熱体に近い所
 - 直射日光が長時間当たり高温になる所

●充電不足や充電切れ

針の動きで、充電量が不足しているかどうかわかります。充電不足になると、使用できる機能が制限されます。

重要

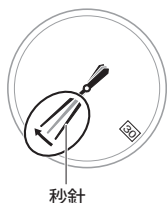
- 充電不足や充電切れになったときは、文字板(ソーラーパネル)に光を当てて速やかに充電してください。

参考

- 充電が切れた状態で光に当て続けると、秒針が反時計回りに動き、57 秒の位置で停止します。これは充電を開始したことを示します。

充電不足のとき

秒針が 2 秒ごとに動きます。



充電切れのとき

すべての針と日付が停止します。



●充電時間の目安

充電時間の目安として、下の表をご活用ください。

1 日、使用するに必要な充電時間

光量(ルクス)	充電時間
50,000	8 分
10,000	30 分
5,000	48 分
500	8 時間

充電量の回復に必要な時間

- 晴れた日の屋外など(50,000 ルクス)

充電切れ → 充電量:中	2 時間
充電量:中 → 充電量:高	18 時間
充電量:高 → 満充電	5 時間

- 晴れた日の窓際など(10,000 ルクス)

充電切れ → 充電量:中	6 時間
充電量:中 → 充電量:高	67 時間
充電量:高 → 満充電	18 時間

- 曇りの日の窓際など(5,000 ルクス)

充電切れ → 充電量:中	8 時間
充電量:中 → 充電量:高	108 時間
充電量:高 → 満充電	29 時間

- 蛍光灯下の室内など(500 ルクス)

充電切れ → 充電量:中	94 時間
充電量:中 → 充電量:高	—
充電量:高 → 満充電	—

参考

- 実際の充電時間は、環境や時計の設定などによって異なります。

●節電(パワーセービング機能)

午後 10 時から午前 5 時 50 分の間に、時計を暗い場所に約 1 時間置いておくと秒針が停止し、レベル 1 の節電状態になります。この状態が 6~7 日続くと、すべての針が 0 位置で停止し、レベル 2 の節電状態になります。

レベル 1:

秒針を停止して節電します。

レベル 2:

日付以外の針の動き、Bluetooth 接続およびアラームのお知らせを停止して節電します。

参考

- 時計を装着している場合でも、ソーラーパネルが袖などに隠れていると節電状態になることがあります。

節電状態を解除する

以下の方法で、節電状態を解除します。

- いずれかのボタンを押す
- リゅうずを引く
- 時計を明るい場所に置く

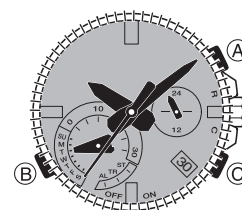
暗い所で時計を見る

暗い所で時計の表示を見るときに、LED ライトを点灯させて画面を明るくすることができます。ライトは徐々に明るくなり、徐々に暗くなります。

ライトは、時刻モードとアラームモードで使用できます。

●ライトを点灯する

A ボタンを押すと、ライトが針を照らします。



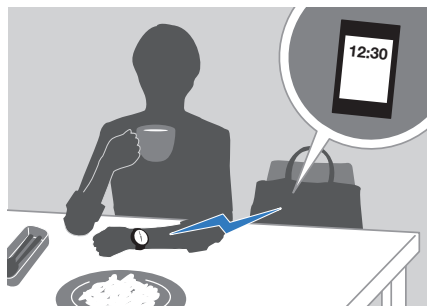
- ライト点灯中にアラーム音が鳴ると、消灯します。
- 針が早送りされているとき、ライトは点灯しません。
- ライトの点灯時間は、1.5 秒と 3 秒のどちらかを選ぶことができます。
[Q 時計の各種機能を設定する](#)

本機の便利な使い方

本機とスマートフォンをペアリングすることで、時計のさまざまな機能を簡単に使うことができます。

時刻を自動で合わせます

🕒 時計の時刻を自動で合わせる



その他、時計のさまざまな設定がスマートフォンで操作できます。

まずは、時計とスマートフォンをペアリングしてください。

🔗 準備する

- 時計とスマートフォンをペアリングするには、カシオオリジナルのアプリケーション「CASIO WATCHES」をスマートフォンにインストールする必要があります。

スマートフォンと一緒に使う

時計とスマートフォンを Bluetooth で接続することで、時計の時刻を自動で合わせたり、時計の設定を変更したりできます (モバイルリンク機能)。

参考

- この機能は、CASIO WATCHES が起動しているときのみ使用できます。
- この章では、時計とスマートフォンを操作します。
🕒 : 時計を操作します。
📱 : スマートフォンを操作します。

準備する

スマートフォンと一緒にお使いになるには、時計とスマートフォンをペアリングする必要があります。以下の手順でペアリングをしてください。

- ① アプリケーションをインストールする
- ② Bluetooth を設定する
- ③ ペアリングする

●① アプリケーションをインストールする

Google Play または App Store で、カシオオリジナルのアプリケーション「CASIO WATCHES」を検索して、スマートフォンにインストールしてください。

重要

- ペアリングするには、アプリケーション「CASIO WATCHES」をインストールした後、CASIO ID でログインする必要があります。すでに ID をお持ちの場合、お持ちの ID でログインします。ID をお持ちでない場合は、画面に従い新規登録をし、ログインしてください。

●② Bluetooth を設定する

スマートフォンの Bluetooth 設定をオンにします。

参考

- 設定方法の詳細についてはスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

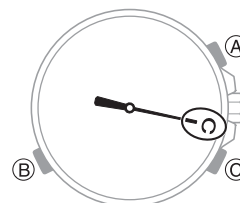
●③ ペアリングする

1. ペアリング相手のスマートフォンを、時計の近く (1m 以内を推奨) に置きます。
2. 📱 「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
3. 📱 「マイウォッチ」タブの⊕をタップします。
4. 📱 画面に従って操作して、時計を CASIO WATCHES に登録します。
5. 🕒 秒針が[R]の位置を示すまで 2.5 秒以上、B ボタンを押し続けます。

ペアリングが完了すると、秒針が[C]に移動します。

このとき、スマートフォンと時計の時刻が合います。

- ペアリングに失敗すると、時刻モードに戻ります。ペアリングを最初からやり直してください。



以上でペアリングは完了です。

ペアリングすると、以後はスマートフォンと時計が自動的に接続し、時計の時刻がスマートフォンの時刻と合います。

参考

- CASIO WATCHES を初めて起動したときに、位置情報の使用を許可するかどうかのメッセージがスマートフォンの画面に表示されます。位置情報をバックグラウンドでも使用できるように設定してください。

時計の時刻を自動で合わせる

毎日決まった時刻にスマートフォンと接続して、時計の時刻を自動で合わせます。

●使い方

この時計は 1 日に 4 回の時刻合わせがスケジュールされています。時刻モードにしておけば、(イラストのように) 普段の生活の中で自動的に時刻を合わせるのです、そのままお使いになれます。



重要

- 以下のときは、時計が時刻モードになっていても自動で時刻を合わせることができません。
 - バッテリーが不足している
 - 時計がレベル 2 の節電状態になっている
 - スマートフォンと時計が離れた場所にある
 - 電波干渉などで通信できない
 - スマートフォンのシステム更新を実行している

参考

- スマートフォンと接続しても時計が正しい日時を示さない場合は、針や日付を補正してください。
 ○ 針や日付の位置を補正する
- 時刻合わせのタイミングは、午前 12 時半頃、午前 6 時半頃、午後 12 時半頃、午後 6 時半頃で、それぞれの時刻になると自動で接続して時刻が合います。時刻合わせが終了すると自動で接続が解除されます。

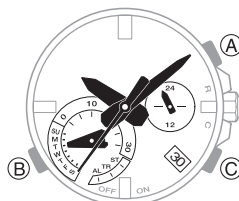
●すぐに時刻を合わせたい

時計とスマートフォンを接続すると、時計の時刻を合わせることができます。今すぐ時計の時刻を合わせたいときは、以下の手順で時計とスマートフォンを接続します。

1. スマートフォンを、時計の近く (1m 以内を推奨) に置きます。
2. C ボタンを約 0.5 秒間押し続けます。秒針が [R] に移動したらすぐに指を離します。

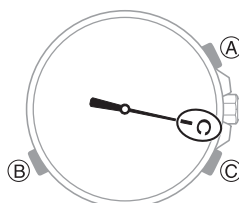
時計とスマートフォンが接続すると、秒針が [C] に移動して、時計の時刻がスマートフォンの時刻に合います。

- このとき、現在位置がスマートフォンに記録されます。
- 時刻合わせが終わると、接続が終了します。



アラームを設定する

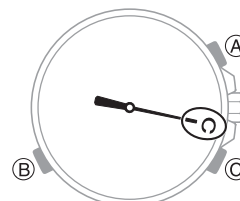
1. 「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
2. B ボタンを 2.5 秒以上押し続けます。
 - 秒針が [R] の位置を示すまで、B ボタンを押し続けてください。
 - 時計とスマートフォンが接続すると、秒針が [R] から [C] に移動します。



3. 画面に従って操作して、アラームの時刻を設定します。

タイマーを設定する

1. 「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
2. B ボタンを 2.5 秒以上押し続けます。
 - 秒針が [R] の位置を示すまで、B ボタンを押し続けてください。
 - 時計とスマートフォンが接続すると、秒針が [R] から [C] に移動します。

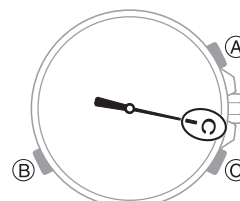


3. 画面に従って操作して、タイマーの時間を設定します。

針や日付の位置を補正する

自動時刻修正をしても針や日付の位置が合っていないときは、CASIO WATCHES を使って針や日付の位置を補正できます。

1. 「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
2. B ボタンを 2.5 秒以上押し続けます。
 - 秒針が [R] の位置を示すまで、B ボタンを押し続けてください。
 - 時計とスマートフォンが接続すると、秒針が [R] から [C] に移動します。



3. 画面に従って操作して、針や日付の位置を補正します。

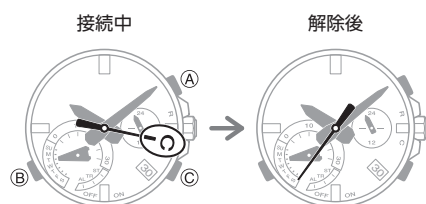
スマートフォンを探す

時計の操作で、スマートフォンの音を鳴らして探すことができます(携帯電話探索機能)。スマートフォンがマナーモードに設定されていても、強制的に音が鳴ります。

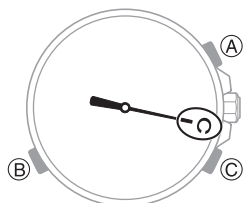
重要

- スマートフォンで CASIO WATCHES が終了しているときは、この機能を使ってもスマートフォンは鳴りません。
- スマートフォンの音を鳴らすことが禁止されている場所では、この機能を使わないでください。
- 大音量が発生しますので、ヘッドホン使用時にこの機能を使わないでください。

1. 時計とスマートフォンが接続している場合は、いずれかのボタンを押して接続を解除します。



2. B ボタンを 1 秒以上押し続けます。
時刻モードになります。
3. 秒針が [R] を 2 回示すまで 2.5 秒以上、C ボタンを押し続けます。
時計とスマートフォンが接続すると秒針が [C] に移動して、スマートフォンの音が鳴ります。
 - スマートフォンの音が鳴るまで数秒かかります。

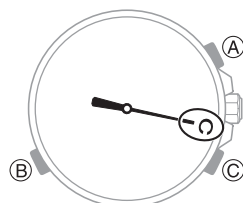


4. どれかのボタンを押して音を止めます。
 - 音が鳴り始めてから 30 秒間は、時計のボタン操作で音を止めることができます。

時計の各種機能を設定する

時計とスマートフォンを接続すると、CASIO WATCHES を使って時計のさまざまな機能を設定したり、時計が取得した情報を確認したりできます。

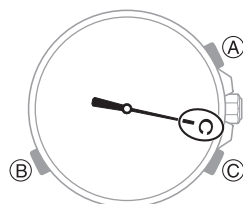
1. 「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
2. B ボタンを 2.5 秒以上押し続けます。
 - 秒針が [R] の位置を示すまで、B ボタンを押し続けてください。
 - 時計とスマートフォンが接続すると、秒針が [R] から [C] に移動します。



3. 設定したい内容を選び、画面に従って操作します。

ホーム都市のサマータイム設定を切り替える

1. 「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
2. B ボタンを 2.5 秒以上押し続けます。
 - 秒針が [R] の位置を示すまで、B ボタンを押し続けてください。
 - 時計とスマートフォンが接続すると、秒針が [R] から [C] に移動します。

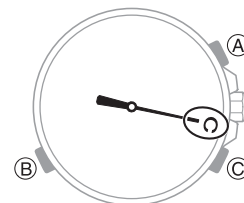


3. 画面に従って操作して、ホーム都市のサマータイム設定を切り替えます。
サマータイムの切り替えについて

時計の充電量を確認する

CASIO WATCHES で時計の充電量を確認できます。

1. 「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
2. B ボタンを 2.5 秒以上押し続けます。
 - 秒針が [R] の位置を示すまで、B ボタンを押し続けてください。
 - 時計とスマートフォンが接続すると、秒針が [R] から [C] に移動します。



3. CASIO WATCHES で充電量の表示を確認します。

訪れた場所を記録する(タイム & プレイス)

旅行などで訪れた場所の位置や訪れた日時を、スマートフォンに記録できます。記録した位置情報は、CASIO WATCHES の地図で確認できます。

● 現在位置を記録する

1. 時刻モードにします。
モードを切り替える
2. 記録したい場所で、C ボタンを押します。
ボタンを押した場所の緯度、経度、日時がスマートフォンに記録されます。
 - 記録に成功すると、秒針が 1 周して再度 [C] を指した後、スマートフォンと時計の時刻が合います。

● 訪れた場所を地図で確認する

1. 「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
2. 画面に従って操作して、記録した位置情報を確認します。

参考

- 記録した位置情報は、CASIO WATCHES を操作して消去できます。

接続

時計とスマートフォンを接続する

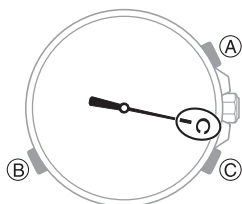
この時計は、ペアリング済みのスマートフォンと接続します。

- ペアリングしていないときは、下記を参照し、ペアリングを完了してください。

🔗 ③ ペアリングする

● スマートフォンと接続する

1. スマートフォンを、時計の近く(1m 以内を推奨)に置きます。
2. 🕒 秒針が[C]を示していないときに、B ボタンを 2.5 秒以上押し続けます。
 - 秒針が[R]の位置を示すまで、B ボタンを押し続けてください。
 - 時計とスマートフォンが接続すると、秒針が[R]から[C]に移動します。



重要

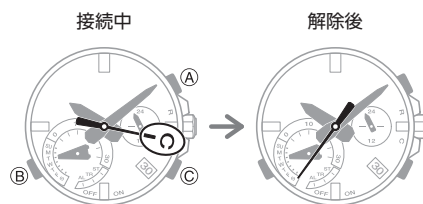
- 時計とスマートフォンを接続できないときは、CASIO WATCHES が終了している可能性があります。スマートフォンのホーム画面で「CASIO WATCHES」アイコンをタップしてアプリケーションを起動してから、時計の B ボタンを 2.5 秒以上押し続けてください。

参考

- 接続中に一定時間何も操作しないと、自動で接続は解除されます。接続を維持する時間は、CASIO WATCHES の「時計設定」→「アプリとの接続時間」で、3 分、5 分、10 分から選ぶことができます。

時計とスマートフォンの接続を解除する

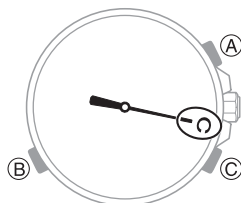
いずれかのボタンを押すと、Bluetooth 接続が解除され秒針が通常の動きに戻ります。



● 病院内、飛行機内で使うとき

病院内や飛行機内など、スマートフォンと接続しては困るような場合、自動時刻修正を無効にできます。自動時刻修正を有効に戻すときも同じ操作です。

1. 📱「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
2. 🕒 B ボタンを 2.5 秒以上押し続けます。
 - 秒針が[R]の位置を示すまで、B ボタンを押し続けてください。
 - 時計とスマートフォンが接続すると、秒針が[R]から[C]に移動します。



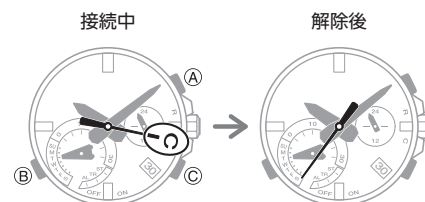
3. 📱画面に従って操作して、自動時刻修正を有効または無効に設定します。

● ペアリングを解除する

時計とスマートフォンのペアリングを解除するには、CASIO WATCHES の操作と時計の操作が必要です。

● CASIO WATCHES からペアリング情報を削除する

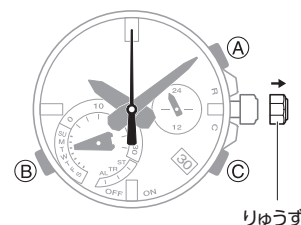
1. 🕒 時計とスマートフォンが接続している場合は、いずれかのボタンを押して接続を解除します。



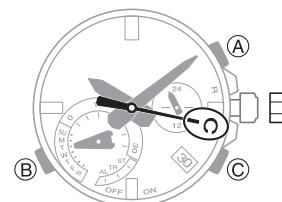
2. 📱「CASIO WATCHES」アイコンをタップします。
3. 📱画面に従って操作して、ペアリングを解除します。

● 時計のペアリング情報を削除する

1. 🕒 時刻モードにします。
🔗 モードを切り替える
2. 🕒 りゅうずを緩めてから引きます。
秒針が 12 時位置を示します。



3. 🕒 C ボタンを 10 秒以上押し続けます。
ペアリング情報が削除されると、秒針が[C]を示します。



4. 🕒 りゅうずを戻し、ロックします。

● スマートフォンを買い替えたとき

今まで接続したことのないスマートフォンと本機を Bluetooth 接続する場合は、ペアリング操作が必要です。

🔗 時計のペアリング情報を削除する

🔗 ③ ペアリングする

時刻を合わせる

この時計は、スマートフォンと接続して日付や時刻を合わせることができます。

重要

- 飛行機内など、スマートフォンと接続しては困るような場所では、スマートフォンとの接続を無効にしてください。

📍 病院内、飛行機内で使うとき

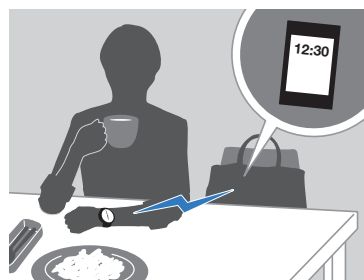
以下のチャートを参考にして、自分の生活スタイルに合った方法で時刻を合わせてください。

スマートフォンをお使いですか？

スマートフォンと接続して時刻を合わせることをお勧めします。

📍 準備する

📍 時計の時刻を自動で合わせる



接続できるスマートフォンがない場合

接続できるスマートフォンがない場合は、時計を操作して時刻を合わせることができます。

📍 時計を操作して時刻を合わせる



時計を操作して時刻を合わせる

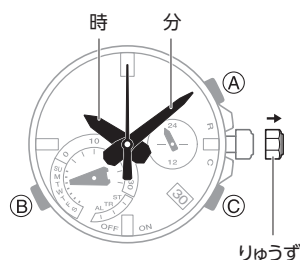
スマートフォンと通信しているときは、スマートフォンの時刻と日付に自動的に合わせます。スマートフォンと接続しないときは、以下の操作で時計の時刻と日付を合わせます。

1. 時刻モードにします。

📍 モードを切り替える

2. リゅうずを緩めてから引きます。

秒針が 12 時位置に移動し、「時」と「分」を設定できる状態になります。

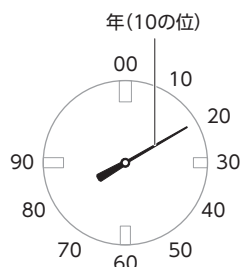


3. リゅうずを回して「時」と「分」を合わせます。

4. B ボタンを押します。

「年(10 の位)」を設定できる状態になります。

5. リゅうずを回して「年(10 の位)」を合わせます。

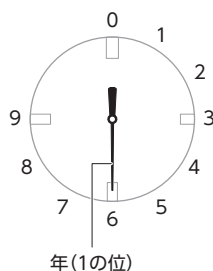


- 年は西暦(20xx)で合わせます。

6. B ボタンを押します。

「年(1 の位)」を設定できる状態になります。

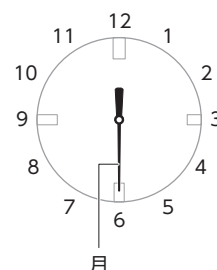
7. リゅうずを回して「年(1 の位)」を合わせます。



8. B ボタンを押します。

「月」を設定できる状態になります。

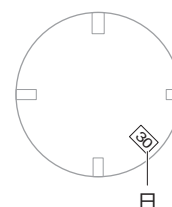
9. リゅうずを回して「月」を合わせます。



10. B ボタンを押します。

「日」を設定できる状態になります。

11. リゅうずを回して「日」を合わせます。



12. 時報に合わせりゅうずを戻し、ロックします。

参考

- 年月日を設定すると、自動的に曜日も設定されます。

アラーム

指定した時刻に音でお知らせします。

- 以下のときは音が鳴りません。
 - 充電不足のとき
 - 節電状態レベル 2 のとき

🔋 節電 (パワーセービング機能)



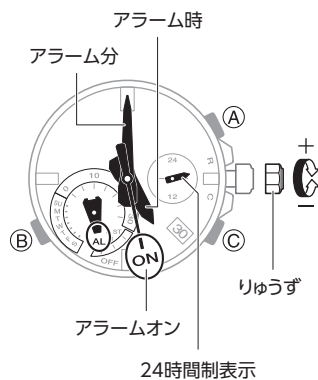
CASIO WATCHES でアラームをセットする

スマートフォンとペアリングしている場合は、CASIO WATCHES を使ってアラームを設定することもできます。

🔗 アラームを設定する

アラームをセットする

1. アラームモードにします。
🔗 モードを切り替える
2. リゅうずを緩めてから引きます。
アラームがオンになります。
3. リゅうずを回してアラーム時刻を設定します。



4. リゅうずを戻し、ロックします。

参考

- 設定した時刻になると、音を 10 秒間鳴らしてお知らせします。
- アラームモードで、約 2~3 分間何も操作しないと時刻モードに戻ります。

●アラームを止めるには

設定した時刻に音が鳴ったら、いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

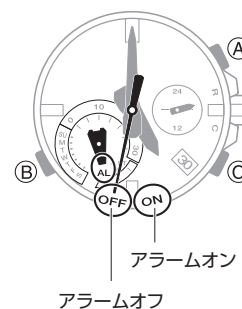
アラームを解除する

アラーム音が鳴らないようにするには、以下の操作でアラームの設定をオフにしてください。

- 再度アラーム音を鳴らすには、アラームをオンにしてください。

1. アラームモードにします。
🔗 モードを切り替える
2. C ボタンを押して秒針を「OFF」に合わせます。

- C ボタンを押すごとに、オンとオフが切り替わります。

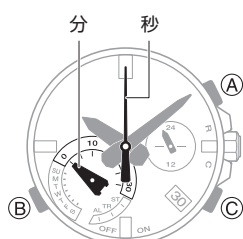


ストップウォッチ

1 秒単位で 30 分まで計測できます。



計測する



- ストップウォッチモードにします。
🔄 モードを切り替える
- 以下の操作で計測します。
 - ① スタート
 - ↓
 - ① ストップ
 - ↓
 - ① 再スタート
 - ↓
 - ① ストップ
- C ボタンを押して、計測をリセットします。

タイマー

設定した時間をカウントダウンします。残り時間がゼロになると音でお知らせします。

- 充電不足のときは音が鳴りません。



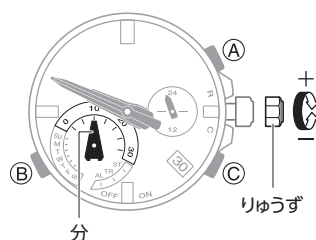
CASIO WATCHES でタイマーをセットする

スマートフォンとペアリングしている場合は、CASIO WATCHES を使ってタイマーの時間を設定することもできます。

🔄 タイマーを設定する

時間を設定する

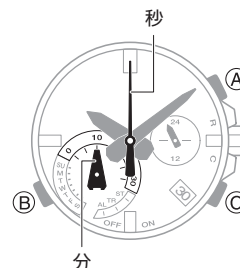
- タイマーモードにします。
🔄 モードを切り替える
- リゅうずを緩めてから引きます。
時針、分針、秒針、および 24 時間針が一時的に移動します。
- リゅうずを回して時間を設定します。
● タイマーは、1 分単位で 30 分まで設定できます。



- リゅうずを戻し、ロックします。

タイマーを使う

- タイマーモードにします。
🔄 モードを切り替える
- A ボタンを押して、タイマーを開始します。



残り時間がゼロになると、10 秒間音を鳴らしてお知らせします。

- カウントダウン中に A ボタンを押すと、タイマーを一時停止できます。一時停止中に C ボタンを押すと、タイマーをリセットできます。

- いずれかのボタンを押して、音を止めます。

針や日付の補正

強い磁気や衝撃を受けると、針の時刻や日付の位置が合っていないことがあります。そのようなときは、針や日付の位置を補正します。

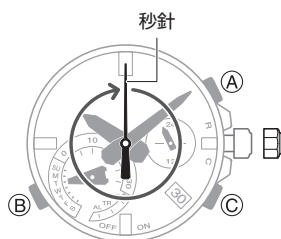
CASIO WATCHES で針や日付の位置を補正する

スマートフォンとペアリングしている場合は、CASIO WATCHES を使って針や日付の位置を補正することもできます。

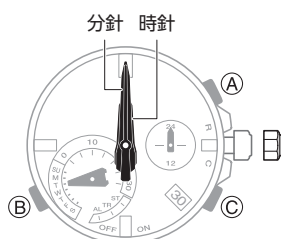
🔗 針や日付の位置を補正する

針や日付の位置を補正する

1. 時刻モードにします。
🔗 モードを切り替える
2. リゅうずを緩めてから引きます。
秒針が 12 時位置を示します。
3. C ボタンを 5 秒以上押し続け、秒針が 1 周したら指を離します。
秒針を補正できるようになります。



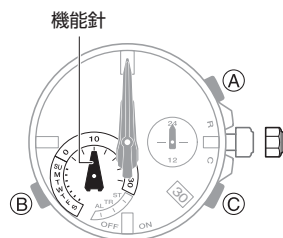
4. リゅうずを回して秒針を 12 時位置に合わせます。
5. B ボタンを押します。
時計と分針を補正できるようになります。



6. リゅうずを回して時針と分針を 12 時位置に合わせます。

7. B ボタンを押します。

機能針を補正できるようになります。

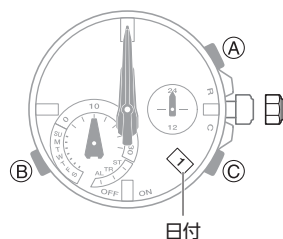


8. リゅうずを回して機能針を「10」に合わせます。



9. B ボタンを押します。

日付を補正できるようになります。



10. リゅうずを回して「1」を中央に合わせます。

• リゅうずを回すと機能針も連動します。
機能針を「10」に合わせてください。

11. リゅうずを戻し、ロックします。

参考

- リゅうずを引いた状態で約 30 分間何も操作しないと、操作が効かなくなります。リゅうずをいったん戻し、操作を最初からやり直してください。リゅうずを戻すと、それまでに補正した針は、補正された状態になります。

その他の設定

時計の各種設定を変更できます。

時計の設定をリセットする

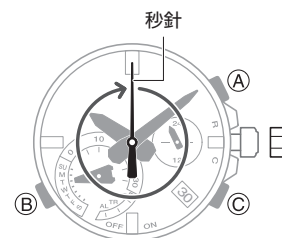
時計の以下の設定を、お買い上げ時の状態に戻すことができます。

- 時計の各種設定
- ストップウォッチ
- タイマー
- アラーム

1. 時刻モードにします。
🔗 モードを切り替える

2. リゅうずを緩めてから引きます。
秒針が 12 時位置を示します。

3. A ボタンを 5 秒以上押し続けます。
リセットが完了すると、報音して秒針が 1 周します。その約 3 秒後にさらに秒針が 1 周します。



4. リゅうずを戻し、ロックします。

仕様一覧

精度：

スマートフォンとの通信による時刻合わせができない場合は、平均月差±15秒

基本機能：

時・分(10秒運針)・秒、日付(2000～2099年までのフルオートカレンダー)、曜日

ストップウォッチ機能：

計測単位 1秒
計測範囲 30分
計測機能 通常計測

アラーム機能：

時刻アラーム
セット単位 時・分
電子音 10秒間

タイマー機能：

セット単位 1分
計測範囲 30分
計測単位 1秒
タイムアップ時 10秒間の電子音で報知

モバイルリンク機能：

自動時刻修正機能
決まった時刻に自動で時計を合わせる
ワンタッチ時刻修正
手動で接続して時刻を合わせる
携帯電話探索機能
時計操作により、スマートフォンの音を鳴らす
サマータイム自動切り替え機能
スタンダードタイム/サマータイムを自動で切り替える
タイマー設定
アラーム設定
針位置補正機能
タイム&プレイス
通信仕様
Bluetooth®
周波数帯域 2400MHz～2480MHz
最大送信電力 0dBm(1mW)
通信距離 ～2m(環境により変化)

その他：

高輝度LEDライト(スーパーイルミネーター、残照機能付き)
パワーセービング機能
バッテリー充電警告機能

使用電池：

二次電池 CTL920
公称電圧 2.3V

持続時間：

約5か月
使用条件
スマートフォンによる自動時刻修正 4回/日
アラーム 1回(10秒間)/日
ライト点灯 1回(1.5秒)/日
パワーセービング 6時間/日

改良などのため、仕様は予告なく変更されることがあります。

補足

操作説明以外に必要な情報はここにまとめています。必要に応じてご覧ください。

サマータイムの切り替えについて

●スマートフォンと接続して切り替える

スマートフォンと接続したとき、CASIO WATCHESの設定(Auto/ON/OFF)により、時計のホーム都市の時刻は以下になります。

Auto：

スマートフォンと接続したとき、ホーム都市がサマータイムに入っていたら、時計の時刻はサマータイムで表示されます。サマータイムに入っていなければ時計の時刻はスタンダードタイムで表示されます。

ON：

サマータイム期間かどうかに関わらず、時計の時刻は常にサマータイムで表示されます。

OFF：

サマータイム期間かどうかに関わらず、時計の時刻は常にスタンダードタイムで表示されます。

●自動的に切り替える

一度スマートフォンと接続すると、ホーム都市のサマータイム期間の情報が時計に送信されます。CASIO WATCHESでサマータイムの設定を「Auto」にしておけば、そのあとはスマートフォンと接続しなくても、時計がサマータイム期間を判別し、自動でサマータイムに切り替わります。

対応するスマートフォン

本機と通信できるスマートフォンについては
カシオホームページでご確認いただけます。

https://world.casio.com/os_mobile/wat/

商標、登録商標について

- Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、カシオ計算機(株)はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- iPhone、App Store は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。
- IOS は米国シスコの商標または登録商標です。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- Android および Google Play™ は、Google LLC の商標または登録商標です。
- その他の会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

困ったときは

ペアリングできない

Q1 時計とスマートフォンが一度も接続（ペアリング）できない

機種は対応していますか？

お使いのスマートフォンと OS が対応機種となっているかご確認ください。
対応機種についてはカシオホームページをご覧ください。

↓ https://world.casio.com/os_mobile/wat/

CASIO WATCHES をインストールしましたか？

時計と接続するためには、CASIO WATCHES をスマートフォンにインストールする必要があります。

🔗 ① アプリケーションをインストールする

Bluetooth は設定しましたか？

スマートフォンの Bluetooth を設定してください。設定方法の詳細についてはスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

iPhone をお使いの方

- 「設定」→「Bluetooth」→オン
- 「設定」→「プライバシー」→「Bluetooth」→「CASIO WATCHES」→オン

Android をお使いの方

- Bluetooth をオンにしてください。

ストップウォッチまたはタイマーが計測中ですか？

ストップウォッチが計測中のときはスマートフォンとペアリングできません。計測を止めてからスマートフォンとペアリングしてください。

上記以外

一部のスマートフォンで CASIO WATCHES を使用する場合、スマートフォンで BT Smart の設定を無効にする必要があります。設定方法の詳細についてはスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

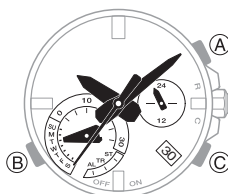
ホーム画面で「メニュー」→「本体設定」→「Bluetooth」→「メニュー」→「BT Smart 設定」→「無効にする」

再接続できない

Q1 時計とスマートフォンが再接続できない

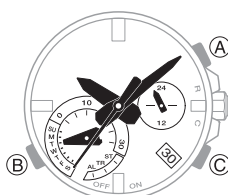
CASIO WATCHES は起動していますか？

CASIO WATCHES が終了していると、時計とスマートフォンの再接続ができません。スマートフォンのホーム画面で「CASIO WATCHES」アイコンをタップした後、時計の B ボタンを 2.5 秒以上押し続けてください。



スマートフォンを確認しましたか？

スマートフォンの電源を入れ直し、「CASIO WATCHES」アイコンをタップしてから、時計の B ボタンを 2.5 秒以上押し続けてください。



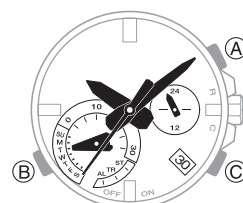
時計は十分に充電されていますか？

充電不足のときは、スマートフォンと接続できません。時計を充電してからスマートフォンと接続してください。

🔗 充電する

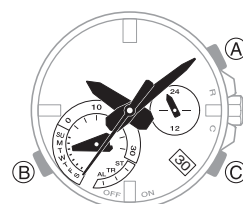
Q2 スマートフォンの機内モードを有効にしたら接続できなくなった

スマートフォンの機内モードを有効にすると、時計と接続できません。スマートフォンの機内モードを解除してから、スマートフォンのホーム画面で「CASIO WATCHES」アイコンをタップした後、時計の B ボタンを 2.5 秒以上押し続けてください。



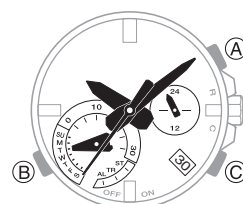
Q3 スマートフォンの Bluetooth をオンからオフにしたら接続できなくなった

スマートフォンの Bluetooth をオフからオンにし、ホーム画面で「CASIO WATCHES」アイコンをタップした後、時計の B ボタンを 2.5 秒以上押し続けてください。



Q4 スマートフォンの電源を切ったら接続できなくなった

スマートフォンの電源を入れ、「CASIO WATCHES」アイコンをタップしてから、時計の B ボタンを 2.5 秒以上押し続けてください。

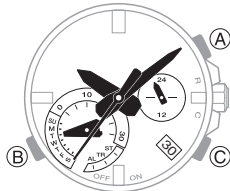


どうしても接続できない場合

Q1 どうしてもスマートフォンと時計を接続できない

スマートフォンを確認しましたか？

スマートフォンの電源を入れ直し、「CASIO WATCHES」アイコンをタップしてから、時計の B ボタンを 2.5 秒以上押し続けてください。



ペアリングをやり直しましたか？

CASIO WATCHES とスマートフォンからペアリング情報を削除した後、ペアリングをやり直してください。

☞ CASIO WATCHES からペアリング情報を削除する

☞ ③ ペアリングする

それでも接続できない場合

時計からペアリング情報を削除した後、ペアリングをやり直してください。

☞ 時計のペアリング情報を削除する

☞ ③ ペアリングする

スマートフォンを機種変更した場合

Q1 今使っている時計を別のスマートフォンと接続したい

お使いになっている時計からペアリング情報を削除した後、接続したいスマートフォンをペアリングしてください。

☞ スマートフォンを買い替えたとき

Bluetooth 接続による自動時刻修正機能

Q1 どのタイミングで時刻を合わせるのですか？

この時計は、ペアリング済みのスマートフォンと接続して、時刻を合わせます。時刻合わせのタイミングは、午前 12 時半頃、午前 6 時半頃、午後 12 時半頃、午後 6 時半頃で、それぞれの時刻になると自動で接続して時刻が合います。時刻合わせが終了すると自動で接続が解除されます。

Q2 自動修正の時刻になっても時刻が合わない

時刻合わせのタイミングが遅れていますか？

都市の時刻を入れ替えたり、手動で時刻を合わせたりすると、それから 24 時間は自動時刻修正が起動しません。これらの操作の後、24 時間経過すると自動時刻修正が機能するようになります。

自動時刻修正は有効になっていますか？

自動時刻修正を無効にしていると、時刻合わせのタイミングになっても時刻合わせを開始しません。時計とスマートフォンを接続し、CASIO WATCHES で自動時刻修正を有効にしてください。

☞ 病院内、飛行機内で使うとき

時計は十分に充電されていますか？

充電不足のときは、スマートフォンと接続できません。時計を充電してください。

☞ 充電する

Q3 正しい時刻が表示されない

スマートフォンが圏外の状態になっているなどでネットワークに接続できない場合は、正しい時刻が表示されない可能性があります。その場合は、スマートフォンをネットワークに接続して時刻を合わせてください。

アラーム

Q1 アラームが鳴らない

時計は充電されていますか？

充電量が回復するまで光を当ててください。

☞ 充電する

リ्यूずは元の位置に戻っていますか？

リ्यूずを引いた状態ではアラームが鳴りません。リ्यूずを押して元の位置に戻してください。

アラームは鳴る設定ですか？

アラームの設定をオンにしてください。

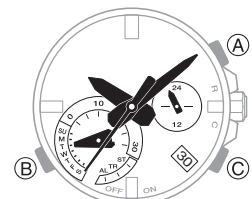
☞ アラームをセットする

針の動きと表示

Q1 現在のモードがわからない

機能針の位置で現在のモードを確認できます。ストップウォッチモードまたはタイマーモードは、モードを切り替えたときに機能針がモード名を示し、その後計測値を示します。モードは B ボタンで切り替えることができます。

☞ モードを切り替える



Q2 針が速く動いているときに、ボタンを操作できない

時計の設定を変更した後などで針が動いているときは、モード切り替え以外のボタン操作ができません。針が止まってから操作してください。

Q3 秒針が 2 秒ごとに動いている

充電量が不足しています。充電量が回復するまで光を当ててください。

☞ 充電する

Q4 すべての針が 12 時位置で停止し、ボタン操作ができない

充電切れです。充電量が回復するまで光を当ててください。

☞ 充電する

Q5 突然、針の動きが速くなった

以下の原因の場合は故障ではありません。通常の動きに戻るまでお待ちください。

- パワーセービング機能が解除され、復帰している。
🔗 [節電 \(パワーセービング機能\)](#)
- スマートフォンと接続して時刻を修正している。
🔗 [時計の時刻を自動で合わせる](#)

Q6 針の動きが止まり、ボタン操作ができなくなった

充電回復モードです。回復するまで (約 15 分間) お待ちください。明るい場所に置いて充電すると早く回復します。

Q7 針や日付の位置が合っていない

強い磁気や衝撃の影響で針や日付の位置が合っていないことがあります。針や日付の位置を補正してください。

- 🔗 [針や日付の位置を補正する](#)
- 手動で針や日付の位置を補正したい場合は、以下をご覧ください。
🔗 [針や日付の補正](#)

Q8 時刻は合っているが、日付が中央に表示されていない

日付が更新中ですか？

日付の更新に関しては、以下をご確認ください。

🔗 [針と日付の動き方について](#)

上記以外

日付の位置が合っていません。日付の位置を補正してください。

🔗 [針や日付の位置を補正する](#)

- 手動で針や日付の位置を補正したい場合は、以下をご覧ください。
🔗 [針や日付の補正](#)

リ्यूズの操作

Q1 リ्यूズを回しても何も操作できない

リ्यूズを引いたまま 2 分以上 (針や日付の位置を補正している場合は約 30 分間) 何も操作しないと、操作が効かなくなります。リ्यूズをいったん戻した後、再度引いてください。

🔗 [リ्यूズを使う](#)

Q2 リ्यूズの操作ができない

時計の設定を変更した後などで針が動いているときは、リ्यूズの操作ができません。針が止まってから操作してください。

充電

Q1 光に当てても操作できない

充電切れになると操作できなくなります。充電量が回復するまで光を当ててください。

🔗 [充電する](#)

その他

Q1 「困ったときは」には知りたい情報がない

以下のウェブサイトをご確認ください。

<https://casio.jp/support/wat/>

注意事項

ご使用上の注意

●防水性

- 防水時計は時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

日常生活用防水

時計の表面または裏ぶたに表記	「BAR」表記無し
----------------	-----------

使用例

洗顔、雨	○
水仕事、水泳	×
ウインドサーフィン	×
スキndaイビング(素潜り)	×

日常生活用強化防水

5 気圧防水

時計の表面または裏ぶたに表記	5BAR
----------------	------

使用例

洗顔、雨	○
水仕事、水泳	○
ウインドサーフィン	×
スキndaイビング(素潜り)	×

10 気圧防水

時計の表面または裏ぶたに表記	10BAR
----------------	-------

使用例

洗顔、雨	○
水仕事、水泳	○
ウインドサーフィン	○
スキndaイビング(素潜り)	○

20 気圧防水

時計の表面または裏ぶたに表記	20BAR
----------------	-------

使用例

洗顔、雨	○
水仕事、水泳	○
ウインドサーフィン	○
スキndaイビング(素潜り)	○

- 専門的な潜水=スクーバダイビング(空気ボンベ使用)でのご使用はお避けください。

- 時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
- 防水構造の機種でも、以下のご使用はお避けください。
 - 防水性能の低下や、ガラスの内側が曇る原因になります。
 - 「水中で」および「時計に水分がついた状態で」リゅうずやボタンを操作すること
 - 入浴のときに使用すること
 - 温水プールやサウナなどの高温多湿な環境で使用すること
 - 時計を手につけたまま手洗い／洗顔／家事などをすると、石鹸や洗剤を使うこと
- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れを拭き取ってください。
- 防水性を保つために定期的(2~3年を目安)なパッキン交換をおすすめします。
- 電池交換の際、防水検査を行いますので、必ず「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照)またはお買い上げの販売店にお申し付けください(特殊な工具を必要とします)。
- 防水時計の一部にデザイン上、皮革バンドを使用しているモデルがありますが、皮革バンド付の状態、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。
- 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。

夏季に高温の室外から室内に入りエアコンの吹き出し口付近で冷気にさらされたり、冬季に暖かい室内から出て屋外の冷気や雪に触れた場合など、外気と時計内部の温度差が大きくなることによって曇る時間が長くなることがあります。

なお、曇りが消えなかったり、時計内部に水が残っている場合は、ただちにご使用をやめて、修理を「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照)またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

●バンド

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- バンドは、劣化やさびなどにより、切れたり外れたりすること、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。これらは、時計の落下や紛失、けがの原因となります。バンドは常にお手入れをして清潔な状態でご使用ください。
- バンドに弾力性がなくなる、ひび割れ、変色、緩み、接合部のピンの飛び出しや抜け落ちなどの異常がある場合は、ご使用をやめてください。点検・修理(有償)や新しいバンドとの交換を、「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照)またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

●温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。

●ショック

- 通常の使用状態でのショックや軽い運動(キャッチボール、テニスなど)には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。

ただし、耐衝撃構造の時計の場合(G-SHOCK/BABY-G/G-MS)は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ(モトクロスなど)でのショックを受けても時計には影響ありません。

●磁気

- アナログ時計やコンビネーション(アナログとデジタル)時計は、針を動かすために磁石の性質を利用したモーターを駆動させる方式を採用していますが、このモーターは強い磁気(オーディオ機器のスピーカー、磁気ネックレス、携帯電話など)を発生する器具に近づけるとモーターの回転に影響を受け、針の「遅れ・進み・止まり・誤った時刻表示」などの原因となります。
- 極度に強い磁気(医療機器など)は誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでお避けください。

●静電気

- 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。

●薬品類

- シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

●保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

●樹脂部品について

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂部品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取り、他の製品に密着させたまにしないでください。
- 長時間、直射日光(紫外線)に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
- 塗装部品は、使用状況(過度の外力、連続したこすれ、衝撃等)により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取って、乾かしてください。
- スケルトン(透明)仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
- ご使用状態や保管環境により異なりますが、日々のご使用や長期保管によって劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

●皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が皮革バンドに移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに柔らかい布などで軽く拭いて、他の製品に密着させたまにしないでください。
 - 長時間、直射日光(紫外線)に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。
- ご注意:**
皮革バンドは、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

●金属部品について

- 金属は、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さびが発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などでよく拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、よく乾燥させてください。
- ときどき、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。

●抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性の良い柔らかい布で拭き取り、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

●お手入れのしかた

時計も衣類同様、直接身につけるものです。長くお使いいただくために、汚れ・汗・水分などは柔らかい布などでこまめに拭き取り、常に清潔な状態でご使用ください。

- 海水や泥がついた場合は、真水でよく洗い流してください。
- 金属バンドおよび樹脂バンドの金属部品は、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。
- 樹脂バンドは、水で洗い、柔らかい布などで水分を拭き取ってください。また、樹脂バンドの表面にシミのような模様が発生することがありますが、人体および衣類への影響はありません。布などで拭き取ってください。
- 皮革バンドは、水や汗がついた場合には、柔らかい布などで軽く拭いてください。
- りゅうずやボタンや回転ベゼルは、長期間操作しないと動きが悪くなる場合があります。ときどき、りゅうずや回転ベゼルの回したり、ボタンを押したりしてください。

●お手入れを怠ると

〈さび〉

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
- 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- さびが発生すると、金属部分に鋭利な箇所ができたり、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。異常に気がついた場合は、ご使用をやめて、修理(有償)を「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照)またはお買い上げの販売店にお申し付けください。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

- 樹脂バンドや樹脂ベゼルは、汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮革バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

本製品で使用している電池について

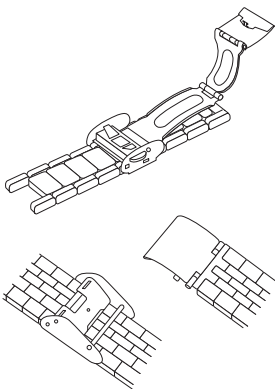
- 専用の二次電池を使用しておりますので、お客様は電池を取り外さないでください。専用の二次電池以外の電池を入れると時計の破損の原因になります。
- 二次電池は、ソーラーパネルが受ける光により充電されますので、一次電池のような定期的な電池交換の必要はありません。ただし、二次電池は長期的なご使用や使用環境により容量や充電効率が低下しますので、充電しても「使用できる時間が短くなった」と感じたときは、「修理に関するお問合せ先」(「はじめにお読みください」を参照) またはお買い上げの販売店にご相談ください。ご希望により保証期間経過後は有料で充電点検調整いたします。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンド(フリータイプの中留構造バンド*を除く)の駒詰めには専用の工具が必要となります。お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはけが等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。なお、「修理お申込み先」(「はじめにお読みください」を参照)においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。詳しくは、「修理に関するお問合せ先」(「はじめにお読みください」を参照)へお問い合わせください。

* 中留をスライドさせて長さ調整するフリータイプのバンドでは、駒の取り外しはできません。

(例)



モバイルリンク機能に関する注意事項

● 法律上のご注意

- 本機は、各国、地域の電波法の適合または認証を取得しております。電波法の適合または認証を取得していないエリアでご使用になると罰せられることがあります。詳しくは、カシオホームページをご覧ください。
<https://world.casio.com/ce/BLE/>
- 各国の航空法により、航空機内でのご使用は制限されています。航空会社の指示に従ってください。

● 安全上のご注意

⚠ 警告 無線について

- 病院内や航空機内では、病院や航空会社の指示に従ってください。本機からの電磁波などが計器類に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- 高精度な電子機器または微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、使用しないでください。電子機器が誤作動するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- ペースメーカーなどをご使用の方は、本機を胸部から離してご使用ください。ペースメーカーなどに磁力の影響を与えることがあります。万一異常を感じたら直ちに本機を体より離し、医師に相談してください。

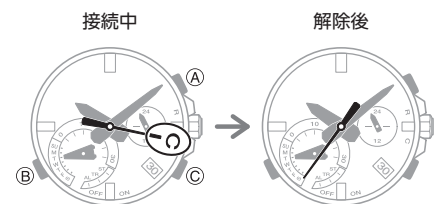
● モバイルリンク機能使用上のご注意

- スマートフォンは、本機の近くに置いてご使用ください。2m 以内が目安です。ただし、周囲の環境(壁、家具など)や建物の構造によっては、通信可能距離が極端に短くなることがあります。
- 本機は、他の機器(電気製品、AV 機器、OA 機器など)の影響を受けることがあります。特に動作中の電子レンジには影響を受けやすく、その近くでは本機が正常に通信できないことがあります。逆に本機の影響で、テレビやラジオに雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。
- 本機の Bluetooth は無線 LAN 対応機器と同一の周波数帯(2.4GHz)を使用しているため、お近くで使用すると電波干渉が発生し、本機と無線 LAN 対応機器の双方で通信速度の低下や雑音、通信不能の原因となる場合があります。

● 本機からの電波を止める必要があるときは秒針が[C] (Bluetooth 接続中) または[R] (Bluetooth 接続待機中) を指しているときは、本機は電波を発信しています。また、秒針が[C] または[R] を指していなくても、1 日 4 回時刻合わせのため、自動で時計とスマートフォンが接続します。

病院内や航空機内など、電波の使用を禁止された区域でお使いになるときは、以下のようにご対応ください。

- 電波の発信を止める
いずれかのボタンを押して Bluetooth 接続を解除してください。



- 自動時刻修正を無効にする
CASIO WATCHES で時計とスマートフォンを同期しないように設定してください。
📍 病院内、飛行機内で使うとき

無線に関するご注意

- 本機は、電波法に基づいて工事設計認証を受けています。無線局の免許は不要です。
- 本機は、工事設計認証を受けています。以下の事項は法律で罰せられることがあります。
 - 分解および改造すること
- 無線 LAN は、本機と同じ周波数帯 (2.4GHz) を使用しています。これらを利用した製品と本機との間で、互いに電波障害を与えることがあります。
- 下記のような環境では、電波状態が悪くなり、電波が届かなくなったりします。
 - 電子レンジ等の磁場、静電気、不要輻射電波の発生する機器の近く
 - 鉄筋コンクリート (マンションなど) や鉄骨構造の建物内
 - 大型金属製家具の近く
 - 各無線機器の間に人が入ったり、間を人が横切るとき、腕を組んだりしたとき
 - 腕時計とスマートフォン等が別々の部屋にある場合 (障害物がある場合)
- 電波を使用している関係上、第三者が故意または偶然に傍受することも考えられます。機密を要する重要な事柄や人命に関わることに使用しないでください。

<以下、ARIB (一般社団法人 電波産業会) に準ずる>

- 本機は 2.4GHz 帯を使用し、変調方式は DS-SS/FH-SS/OFDM 方式、DS-FH、FH-OFDM 複合方式以外の "その他の方式" です。また、想定される与干渉距離は約 10m です。

2.4 XX1

- 本機の使用周波数帯 (2.4GHz) では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局 (免許を要する無線局) および特定小電力無線局が運用されています。
1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
 2. 万一、本機と移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局との間で、電波干渉が発生した場合には、速やかに通信チャンネルを変更するか、使用する場所を変えるか、本機の使用を停止してください。
 3. 不明な点がある場合やお困りの場合は、お買い上げの販売店または「修理に関するお問合せ先」(「取扱説明書」を参照) にお問い合わせください。